

2001.1 月 28 日 (日)

# 氷ノ山ワカン登山&滑落停止訓練

天候 >>> 曇り / 晴れ

気温 >>> 0 ~ 5°

## プラン

午前は氷ノ山越えコースをワカン登山で地蔵堂までピストン、下山後滑落停止訓練。

午後は山スキートレーニングを兼ねてゲレンデ遊び。

まだ夜が明けぬ小雨混じりの道中、今日は登山は中止でゲレンデ遊びか・・・と、思いきや氷ノ山国際スキー場の駐車場に着くと東の空が赤く染まり金色の朝日の到来である。

早速に登山準備にとりかかり今日のプランを実行に移すことにする。

登山口までの車道は圧雪されてクラスト気味なので早速3人にアイゼンを装着さすがこれまた初めての経験なので四苦八苦である。ワンタッチアイゼンも3人とも同じでシャルレの新品である。ブーツは下山後ゲレンデで山板を履くので全員がツアーブーツである。このブーツでの歩きも慣れなくてははいけない。



さて、何処をどう登ろうか

山が語りかけてくる・・・  
楽しい夏山登山、カモシカ縦走、クライミング、沢登り、そしてオールシーズン楽しもうと雪山の魅力にひかれて今日もまた足を運ぶ。  
幾度となく訪れている冬の氷ノ山、さて今日はどんな雪化粧をほどこして出迎えてくれるのか・・・。

## メンバー

- 大塚賢一 45 才
- 福迫順一 38 才
- 安田豊太郎 31 才
- 田中 彰 27 才
- 小西雅美 31 才
- 吉岡恵美 30 才



準備完了、いざ出発！！

このところ山の魅力に誘われて山スキーの新メンバーが増えつつある。みんなトライアスロンやウルトラマラソンで基礎体力は出来上がっているので持久力に関しては十分である。

アイゼン歩行の注意点(スパッツを引っ掛けないこと、雪団子はこまめに落とすこと)を教え、スキーヤーやボーダーが「あいつらあんなもん付けて一体何処行くんや？」と、いう顔をよそに、いざ出発！。



持ち前のパワーでスノシューラン

登山口に着くなり壺足ではいきなり膝上までスッポリと埋まってしまう。高度計を660 mに合わせ。

再び装備変更・・・ワカン or スノシュー装着。さすがに威力絶大で私のスノシューでは20cm ほどしか沈まない。

今日は6人編成のパーティーなので先頭交代をこまめにするが、やはりこの深雪では先頭に立つといきなり重い雪のラッセルになりスムーズには進んでくれないようだ。しかし私にとっては非常に楽しくラクであった、いつもなら単独か二人ほどのパーティーなので殆ど私がラッセルしていたからである。



地藏堂前で

白いキャンパスに木漏れ日が差しこみ木々の陰が映し出され素晴らしい世界へと導いてくれている。やっぱり白い雪には青い空がよく似合う。

このコースからの登山はいきなりの急登ではあるがみんなの顔がほころんでいる。

10時40分、ノートレースではあるがコースも間違わず予定地の地藏堂に到着である。地藏堂の屋根には1m以上の雪が積もっていた、よく倒壊しないものである。5時半の朝食だったので、ここで昼食のラーメンタイムをとって予定通り下山行動をとることにする。

雪を踏み固めて6人が輪になっての食事は言うまでもなく心が和み本当に楽しいものである。



下りはショートカットで



氷ノ山に我らの声がこだまする

下山はピストンであるしショートカットも手伝って早いものである。それにしても夏には賑わっている氷ノ山もこと冬になるとほとんど人と出会ったことがない、こんなにも素晴らしい雪山に我々の声がだけがこだましている。



木漏れ日差して笑みがこぼれる

さあ、下山すると本日の Main Event である滑落停止トレーニングである。

今までにこの氷ノ山で彰が雪団子で20m滑落、キクちゃんが御嶽山で200 m滑落、立山の雷鳥沢でスキーヤーが500 m滑落・・・と目の当たりに見ている。みな無事だから良かったもののやはり滑落停止訓練が必要であると常々思っていた、特に新メンバーに女性が入るとなるとなさらである。



ピッケルで滑落停止訓練

氷ノ山越えの登山口の適度な斜面を踏みつけ圧雪して準備完了。

まず私がデモンストレーターになり、トラバース中にスパッツを引っ掛け谷川に滑落・・・肩から一回転してピッケルのピックを雪面にぶち込み体を回り込ませて停止。

みな啞然とした顔で「そんな怖いことするん？」と言った表情であった。

しかし、何十回と練習するうちに怖さも取れ、最後のほうでは「お前今日で10回は死んでるで～」と顔もほころびだんだんと体が覚えてきているようだった。

ハーネスとロープを使っのスタカット、大阪方式コンテニユアス、タイトロープ、スタンディングアックスピレーもすべて行ったがまだまだ練習が必要である。



タイトロープで滑落停止訓練

このトレーニングを体得していても「いざっ！」の時にどれだけ体が反応するかは疑問ではあるがやっているのいないのとでは大きな違いがあるだろう。

このトレーニング時間に3時間も要してしまったので今日のゲレンデ滑りは中止にして帰路につくことにした。

大自然が作り出す雪化粧をほどこした壮大な山々と遊ぶためには一にも二にも自分自身に注意を配り、周りの景色をよく把握し分析し、ギアをどれだけ使いこなしていけるかだろう。

ほんまになんかこの頃変わったこと  
してるなーって気がしてる小西よ  
り。

朝、初めてアイゼンはいて、両足ぶ  
つけんようにって緊迫感をたっぶり。  
もう慣れたはずのワカンでのラッセル  
で、進むどころか、その場に穴つくつ  
て体沈めちゃうこと数回。「なんか今  
日って、雪、いつもと違う・・・！」

ラーメントタイムはワカンを忘れた安  
田さんが天然のセンスで盛り上げてく  
れ・・・。下山は時々滑り台のスリル  
を・・・。

今日は地蔵谷までだったので、まだ  
あと600mは上れるなんて聞くと今  
日の私の能力からは大丈夫かな？って  
感じだった。

ほんとはこれだけで充分やった！なん  
て満足して帰れたんだろーと思う。な  
のに、ボスがあんなことあそこでし  
すから・・・。

滑落停止訓練はおもしろかった。ほ  
んとはしゃれにならないためのことな  
らだけ。

ピッケル持って、大塚さんが坂転がっ  
て落ちた時はほんまにビビッてし  
まった。みんなも何度も上から転がっ  
てはピッケルを雪にさして止まる練習  
をした。(なんかえみちゃんの転がる  
前のひと呼吸とピッケルをさす瞬間が  
かっこよかったでえ！)

ロープで救助の練習もしたし、寒かつ  
たけど、とても興味深い実技だったな  
あ。

(お尻ビチャビチャになったから、私。  
なんかこれの印象が濃かったのかな？

でも順番に思い出すと、晴れた氷ノ  
山できらきらした雪を見せてもらって  
幸せ満喫してたなーって記憶が。  
(地元では朝から雨降ってたらしいの  
に。)

#### 福迫 順一です。

氷ノ山に行ったみなさん、昨日はお疲れ様でした。(遊びなので周りに疲れたとはいえないんだけど・・・)

安田さんへ

今回、初めて会った安田さんがえみまるや雅美ちゃんとまた違った笑いを提供してくれていつもより楽しさが一回り増えました。(私も時々笑いを提供してますが・・・)安田さんは「朴訥(ぼくとつ)」という言葉がぴったりですね。それと髪型のせいも、巨人の松井に似てますね。兵隊さん帽子被ったら桑田かなあ。また雪山行きましょう。でも、忘れ物は厳禁ですよ。(あまり人のこと言えないんだけど)それと、買ったものは直ぐにテストしましょうね。

雅美ちゃんへ

感想メール早かったですね。ところで「お花摘み」事件って何？何？

あきらくんへ

ほんとに久しぶりでしたね。今日はノーミスで全てそつなくこなしてました。ワカンラッセルパワー凄かった。きくちゃんなくともあきらあり・・・ってとこですね。

えみまるへ

えみまるは飲み込みがはやいねえ。滑落停止訓練でもすぐに上達したものね。それにえみまるがいるとパーティが明るくなるよ。

やっっほ！週末は雪遊び三昧楽しかったね。みんなありがと！

安田くんキャラは「ああ、八甲田山」の高倉健にはまって(帽子が似合うし、やることおもしろい!)クスクス・・・ゴアライズ3買ってね！バードエンジェルがキャンプラウンジするから

こにたんの「お花摘み」事件で爆笑・・・内緒よね！大塚塾長「究極のピッケルワーク」みんな転げまくりうまくなってたね！(まだ横っ腹痛いぞ・・・)

美男子あきら君、ふくちゃんの上手なわかんラッセル心地よい疲れで「またくるからね！」来週か？

今のえみまるにとって氷ノ山はヒマラヤなのだ。山に嫌われないよう、万全装備&気持ちでね。

エコイラストレーター 吉岡 恵美